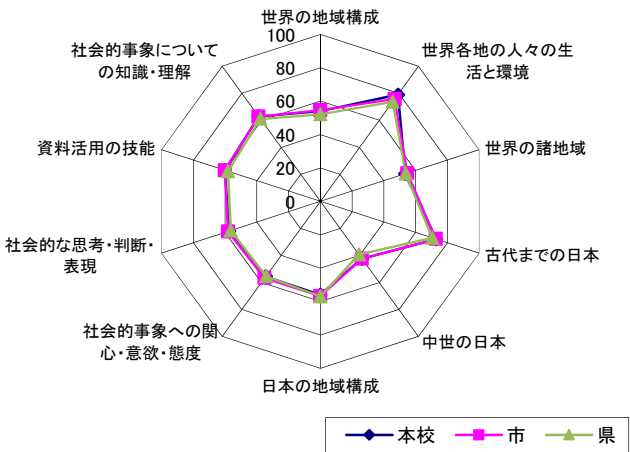


宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【社会】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	世界の地域構成	54.2	54.7	52.3
	世界各地の人々の生活と環境	79.1	75.9	73.7
	世界の諸地域	53.4	54.8	53.9
	古代までの日本	72.9	72.7	70.5
	中世の日本	42.4	42.4	39.3
	日本の地域構成	55.9	56.7	56.9
観点	社会的事象への関心・意欲・態度	55.5	56.7	55.3
	社会的な思考・判断・表現	57.4	58.1	56.4
	資料活用・技能	60.1	60.1	58.2
	社会的事象についての知識・理解	63.0	62.9	61.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
世界の地域構成	○地図の特徴を問う一問一答の問題では県正答率を6ポイント以上上回っている。 ●世界の地域構成に関する内容別正答率では県正答率を上回っているものの市町村正答率ではやや下回っている。 ●複数の地図から目的に応じて適切な地図を選択することがやや苦手である。	・複数の資料から目的に応じた資料を選択することができるよう資料を読み取ったり、課題解決に必要な資料を選択したりする活動を行っていく。
世界各地の人々の生活と環境	○内容別正答率が市町村正答率および、県正答率を上回っている。 ○複数の資料をもとにして異なる気候の人々のくらしについて考察したり、雨温図を読み取ったりする問題では、県正答率を大きく上回っている。 ●一問一答の問題での正答率がほかの問題に比べるとやや低い。	・基礎基本の用語の確実な定着に向けて、授業内で繰り返し用語を確認したり必要に応じて課題を出したりする。 ・複数の資料を比較して読み取ったり、説明したりする活動を継続して行っていく。
世界の諸地域	○知識理解の問題では県正答率を上回っている。 ●内容別正答率では、市町村正答率と県正答率いずれも下回っている。 ●北アメリカ州の地形についての問題では県正答率を10ポイント以上下回っている。	・基礎基本の用語の確実な定着に向けて、授業内で繰り返し用語を確認したり必要に応じて課題を出したりする。 ・単元の終わりに振り返りを行うようにし、学習したことを整理する活動を行う。
古代までの日本	○内容別正答率は市町村正答率、県正答率をいずれも上回っている。 ○世紀の表し方については県正答率を上回っている。 ●国風文化についての理解を問う問題では、50%程度の正答率にとどまっている。	・基礎基本の用語の確実な定着に向けて、授業内で繰り返し用語を確認したり必要に応じて課題を出したりする。 ・文化の特徴を説明する活動を行い、時代や文化を大観することができるようにする。
中世の日本	○執権政治と建武の新政についての問題など知識理解を問う問題では県正答率を上回っている。 ●資料をもとに判断する問題では県正答率を8ポイント程度下回っており、資料の読み取りに課題がある。	・資料の読み取りや考察する力をつけるために、複数の資料を比較して読み取ったり、説明したりする活動を継続して行っていく。
日本の地域構成	●日本の領域や排他的経済水域を問う問題など基礎基本の用語の理解が不十分である。 ●複数の資料をもとに判断する問題では70%以上の正答率となっているが、県正答率をわずかに下回っている。	・基礎基本の用語の確実な定着に向けて、授業内で繰り返し用語を確認したり必要に応じて課題を出したりする。 ・複数の資料を比較して読み取ったり、説明したりする活動を継続して行っていく。